

戦中・戦後の暮らし年表			
年	月	茅ヶ崎	日本・世界情勢
昭和6年（1931）	9月		柳条湖事件（満州事変）起こる
昭和7年（1932）	3月		「満州国」建国
	5月	5.15事件発生	
昭和8年（1933）	3月		日本、国際連盟を脱退
昭和11年（1936）	2月	2.26事件発生	
昭和12年（1937）	7月	盧溝橋事件起こる【日中戦争勃発】	
		盧溝橋事件勃発にともない茅ヶ崎町でも在郷軍人（予備・後備役兵など）へ、いわゆる赤紙での招集が始まる	
		開戦後3か月余りで、茅ヶ崎町での応召軍人は205名を数えたとされる	
	8月	第一次近衛文麿内閣により国民精神総動員運動実施要綱が決定し、翌月から展開される	
	9月	茅ヶ崎町に防空のために防護団が設置される	
	10月	茅ヶ崎町銃後保護委員12名選出され、出征軍人家族の保護にあたる	
	11月	愛国婦人会茅ヶ崎町分会が萩園、南湖に農繁期の託児所を開設	
	12月		南京陥落、南京事件起こる
昭和13年（1938）	4月	国家総動員法公布	
		電力国家管理法公布	
	8月	茅ヶ崎町役場に軍事援護相談所設置 茅ヶ崎町が経済戦強調週間に際し、消費節約を呼びかける	
昭和14年（1939）	1月	茅ヶ崎町で銃後農村生産力拡充運動の徹底化	
	5月	萩園農事実行組合で共同炊事が行われる	
	7月	国民徴用令公布	
	9月		ドイツ軍ポーランドに侵攻【第二次世界大戦勃発】
昭和15年（1940）	7月	第二次近衛文麿内閣成立、新体制確立に向けて運動が展開される	
	9月		日独伊三国軍事同盟締結
	10月	大政翼賛会発足	
	12月	応召者に対する町税賦課の特例が制定される	
昭和16年（1941）	3月	区長・役場吏員などにより物資配給協力委員会設立	
	4月	小学校は国民学校へ改称	
		茅ヶ崎町で農作物作付制限が開始	
	6月	新町区で「隣組常会十訓」作成	
	10月	東條英機内閣成立	
	12月	日本軍マレー半島に上陸、ハワイ真珠湾にあるアメリカ軍基地を空襲【太平洋戦争勃発】	
昭和17年（1942）	1月	連合国共同宣言	
		大日本翼賛壮年団結成	
		食糧管理法公布	
	3月	茅ヶ崎町翼賛壮年団結成	
		茅ヶ崎町で第1回民間金属類特別回収が実施される	
	4月	アメリカ軍機日本本土初空襲	
		同日茅ヶ崎町上空に米軍機1機飛来	
昭和18年（1943）	6月		ミッドウェー海戦で日本軍敗北
	2月		日本、ガダルカナル島より撤退
	5月		アッツ島守備隊全滅
	6月	戦力増強企業整備要綱決定、学徒戦時動員体制確立要綱決定	
	9月		イタリア、連合国軍に無条件降伏
	11月	茅ヶ崎町参与条例制定	ローズヴェルト（米）、チャーチル（英）、蒋介石（中）、カイロにて会談
	12月		カイロ宣言発表
昭和19年（1944）	3月	中学生の勤労動員大綱決定	
	6月		連合国軍フランス・ノルマンディー海岸に上陸
			アメリカ軍、サイパン島に上陸
			マリアナ沖海戦で日本海軍敗北
	7月		サイパン島の日本軍守備隊玉砕
			アメリカ統合参謀本部、日本本土侵攻を決定
	8月	横須賀の浦賀小学校、追浜小学校児童が学童集団疎開で茅ヶ崎の寺院で分宿を始める	
	9月	防空総合訓練	
	10月		統合参謀本部、日本本土侵攻基本案を発表
			アメリカ機動部隊沖縄攻撃
			神風特別攻撃隊編成
	11月		アメリカ軍レイテ島上陸
			レイテ沖海戦で、日本海軍が壊滅的打撃を受ける
	12月	マリアナ基地のB29、東京を初空襲	
	12月	灯火管制が恒常化	

昭和20年（1945）	1月	大本営、本土決戦を表明		
			マルタ島会談（～2月）において、チャーチル（英）、統合参謀本部の基本案承認	
	2月	アメリカ軍機により、茅ヶ崎で初めての空襲	ヤルタ会談	ソ連の対日参戦が決定される
			アメリカ軍、硫黄島に上陸	
	3月		硫黄島守備隊玉砕	日本本土侵攻計画に、ダウンフォール、オリンピック、コロネットの暗号名が使用される
			B29大編隊による空襲により東京下町が焼け野原となる	
	4月		アメリカ軍、沖縄本島に上陸	
			大本営、決号作戦準備要綱発令	
	本土決戦に備え、湘南海岸に第53軍が編成される			
	5月	南湖院が海軍に接收される 白十字会林間学校が海軍砲術学校に接收され、児童は新潟県に集団疎開	ドイツが無条件降伏	統合参謀本部、ダウンフォール作戦を正式承認、太平洋陸軍にまずオリンピック作戦の準備を指令
			太平洋陸軍はコロネットを含めたダウンフォール全体の研究に着手	
			B29による空襲により、横浜が焼け野原となる	
	6月		トルーマン（米）、原子爆弾の無警告投下を決定	トルーマン（米）、コロネット作戦を保留とする
			国民義勇兵役法公布	
	7月	茅ヶ崎町の各小学校が分散教育を始める B29による空襲を受け平塚の市街地域が大きな被害をうける 茅ヶ崎町でも死亡10名、重症12名、住宅焼失182戸の被害	アメリカ、原爆実験に成功	太平洋陸軍コロネット作戦を断念
			トルーマン（米）、チャーチル（英）、スターリン（ソ連）、ポツダムで会談	ポツダム宣言発表
	8月	広島（8月6日）、長崎（8月9日）に原子爆弾が投下される		
			8日、ソ連が日本に宣戦布告、9日から攻撃開始	
		日本、ポツダム宣言を受諾し、連合国に無条件降伏する		
		天皇終戦の詔勅を放送（玉音放送）		
マッカーサー元帥厚木到着				
占領軍第1陣上陸				
9月	東京湾上において、降伏文書調印式が行われる			
	アメリカ軍が茅ヶ崎に進駐する			
昭和21年（1946）	3月	占領軍第8軍第95戦車隊、南湖院を接收し進駐する		
	10月	占領軍が演習場チガサキ・ビーチ（日米政府間の取り決めにに基づき9月24日以降に接收されていたと考えられる）で上陸演習、姥島中心に爆撃演習を行う その後も演習は続く		
	11月	日本国憲法公布		
		ララ物資が横浜港に到着		
	12月	神奈川県内にララ物資が配分される		
	4月	6・3制の新学制が実施される		
昭和22年（1947）	4月	各小学校に新制の中学校が併設		
		日本国憲法施行		
	5月	鶴嶺中学校に茅ヶ崎初のPTAができる		
	7月	茅ヶ崎・小出間にバス開通		
	10月	茅ヶ崎町に市制施行		
昭和23年（1948）	4月	鶴嶺小学校で学校給食始まる 市立茅ヶ崎高等学校開校		
昭和25年（1950）	6月	【朝鮮戦争勃発（～53年）】		
朝鮮戦争勃発にともない、演習場チガサキ・ビーチでのアメリカ軍演習も対外戦争に備えたものに変化し頻繁化				
昭和26年（1951）	9月	サンフランシスコで対日平和条約、日米安全保障条約が調印される		
昭和27年（1952）	－	射撃演習区域が追加され、姥島が米軍の砲撃演習の的となったことで、先端が一部吹き飛ば		
昭和31年（1956）	1月	旧南湖院を含むキャンプ・チガサキがアメリカ軍から返還される		
昭和34年（1959）	6月	演習場チガサキ・ビーチが日本に返還される		

【凡例】白抜きの文字は茅ヶ崎および日本全体に深い影響をおよぼした出来事として表記

主要参考文献

奥須磨子「ララ物資と神奈川県」（神奈川県立図書館企画サービス部地域情報課編 2016 『郷土神奈川』第54号（神奈川県立図書館）／栗田尚弥 1998 『茅ヶ崎市史ブックレット1 コロネット作戦―第2次世界大戦と茅ヶ崎―』（茅ヶ崎市）／茅ヶ崎市史編集委員会編 2005 『茅ヶ崎市史ブックレット8 市民の戦争体験―兵役・戦場・敗戦―』（茅ヶ崎市）／茅ヶ崎市史編集委員会編 2011 『茅ヶ崎市史ブックレット13 演習場チガサキ・ビーチ』（茅ヶ崎市）／茅ヶ崎市史編集委員会編 1992 『茅ヶ崎市史研究』第16号（茅ヶ崎市）／茅ヶ崎市史編集委員会編 2007 『茅ヶ崎市史研究』第31号（茅ヶ崎市）／茅ヶ崎市 1978 『茅ヶ崎市史2 資料編（下）・近現代』／茅ヶ崎市 1981 『茅ヶ崎市史4 通史編』／茅ヶ崎市 1982 『茅ヶ崎市史5 概説編』／茅ヶ崎市 1995 『茅ヶ崎市史 現代2 茅ヶ崎のアメリカ軍』